昭和区　吹上学区	住民交流	健康・福祉	**青少年育成**	環境・美化
	防犯・交通安全	防　災	**歴史・文化・芸術**	その他

吹上「ふれあい伝承あそび」教室

【吹上学区】

■世帯数：4,174 世帯
■人　口：8,009 人
■面　積：0.684ｋ㎡

平成 24 年 4 月 1 日現在

1　活動・取り組みの内容

- 青少年健全育成のための教室「ふれあい伝承あそび教室」を年に４回ほど開催。吹上小学校体育館を会場として、現在では１回に 60～70 人が参加するようになっている。年間の延べ参加者数は約 240 人。
- 小学校が休みである第２・４土曜日の午前中に開催している。
- 折り紙とその発展作品、土鈴づくり、押し花、しおり、お手玉、組紐人形、バルーンアート、ビーズ腕輪、紙芝居、こままわし、囲碁・将棋などの中から、毎回テーマを決めて指導している。また、活動を通じて異学年の交流を図っている。

【住民への PR 方法】

チラシの回覧、掲示板への掲示

【アピールポイント】

区政協力委員や、民生委員児童委員により運営されていたが、子ども会に運営をバトンタッチしたことで担い手の若返りを図った。

誰もが（幼児、老人、父母）参加でき、また参加いただける有志の方には進んで指導ができるような環境づくりを行った。

2 きっかけ、背景

平成９年に民生委員児童委員から発案があった。有志が進んで協力しはじめ、平成９年 10 月の土曜日からスタートした。スタート当初は、吹上学区の旧公民館で開催。参加者、指導者が自然に増え、将棋、囲碁、こままわし、お手玉、紙芝居、折り紙など種類も徐々に増えた。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、民生委員児童委員、保健委員、消防団員、PTA、女性団体・女性会、子ども会、老人クラブ、他学区ボランティアなど計約５０人

(2) 他団体との協力

学区子ども会、民生委員児童委員会、更生保護女性会、老人クラブ、トワイライトスクール、ボランティア団体

(3) 運営協力

各種団体の役員に PR や協力要請をたびたび行っている。

4 実施のスケジュール

毎年４月　年間計画の策定

▼

開催前月　チラシの作成と組回覧による周知

▼

７月　第１回伝承遊び開催

▼

９月　第２回伝承遊び開催

▼

12 月　第３回伝承遊び開催

▼

２月　第４回伝承遊び開催

5 成果と課題

(1) 成果・効果

- 参加者の増加、住民間の交流の深まり、担い手の増加。得意な分野で自由に参加・指導できる。

(2) 苦労した点

- 参加者の確保、活動の担い手が不足、他団体との協力。当初は周知が難しかったが、子ども会の協力を得て徐々に周知されていった。

(3) 今後の課題・展望

- 活動の継続、担い手の世代交代。中心となってテーマをみんなに問いかけ、それをまとめてチラシを作成し、回覧する等、地道な努力が必要であるため、人材の確保が重要な課題となっている。
- 活動資金の確保。